



Profile : ニールセン・ブレット さん
— 榛原在住 —
(カナダ サスカチュワン州出身 / 34 歳)
平成 28 年から ALT (英語指導助手) として、宇陀市に在住し、榛原中・室生中で勤務。趣味は PC ゲーム

**まず、海外旅行するの
に思い浮かんだのが
日本だったんです**
—— どうして日本に興味があつたの？
ブレット…日本のことは、子どもの頃からゲームやアニメで「忍者・侍の国」として知っていました。カナダではセーラムーンも大人気。
僕は成長するにつれ、テレビやアニメなどを通して、和食や寺社などいろんな面で日本文化への関心がだんだん高まってきました。それで大人になって漠然と「海外に行きたいなあ」と思ったときに真っ先に浮かんだのが、一番不思議そうで面白そうな国、日本だったのです。

—— 日本のどこがいいと思う？
宇陀市ってどう？
日本はとにかく安全で衛生的で便利。いくら都市部でも、カナダやアメリカなど他の国と比べても断然安全。銃や強盗の危険も少ないです。ごみも多少のポイ捨てはあるものの、大量のごみが放置されたままということはありません。皆さん宇陀が不便と云うけど、近くにコンビニやスーパー

り宇陀は大阪まで電車や車で 1 時間の場所なのに、静かで山の緑はきれいで、歴史に囲まれていて、都会にはないオンラインワンな魅力にあふれています。これだけ通信技術が整備されているので、今後、サテライトオフィス※のような働き方も十分できるのでは。とにかく私は今、生活の場としてここを本当に気に入っています。

私は「もっと、いろんなことを聞いてくれたらいいのに」と思います。そこが日本人の奥ゆかしさですが、英語がダメでも、身振り手振りでコミュニケーションしてくれたら、もっと仲良くなれるし、お互いハッピーになれるます。その意識改革が日本人をもっとグローバル化させると思います。実は、英語が苦手な外国人もいるんですよ(^^)

—— 最近、インバウンド (外国人観光客 ブームですが…) の部活やバイト先など日常生活の中で覚ええました。私はこれから先も、できるだけ日本で働きたいです。日本語と英語が話せると仕事の選択肢も増えます。将来の夢は、ゲーム関係の仕事をする。ゲーム業界の先駆者である日本。この先、特にこの仕事をするなら、どの国でも私が学んだ日本語がきっと役に立つと思っています。

—— 日本人の印象はどう？
日本人は親切で、とても相手のことを気遣ってくれます。まさに「おもてなし」の精神が根付いています。カナダ人も優しいですが、こちらはカジュアルでフレンドリー。ただ日本人はとてもシャイで、外国人を見ると緊張するのか、よそよそしい態度をされる時があります。例えば、私が少し日本語が話せると「日本語上手ね」と言ってくれますが、その後なかなか会話が続かないことがよくあります。

—— やはり英語は大事？
日本人は他の国に比べ英語が苦手な方がとても多いと思います。将来、より日本での英語教育が進めば、もっと外国人とコミュニケーションを図ることができるし、日本人が海外で働くことがもっと当たり前になるでしょう。グローバル化が進んだ今日、外国人は条件が合えば、ごく普通にいろんな国に働きに行きます。

—— 最近、インバウンド (外国人観光客 ブームですが…) の部活やバイト先など日常生活の中で覚ええました。私はこれから先も、できるだけ日本で働きたいです。日本語と英語が話せると仕事の選択肢も増えます。将来の夢は、ゲーム関係の仕事をする。ゲーム業界の先駆者である日本。この先、特にこの仕事をするなら、どの国でも私が学んだ日本語がきっと役に立つと思っています。

Why Here!? なぜ、 宇陀に？

以前の WCI で宇陀滞在中にカップルになった二人が新婚旅行で、宇陀市に里帰り！
「二人にとって宇陀市は大事なふるさと」とのこと



ZAZEN (坐禅) ってクールだね。すばらしいよ。

社会のグローバル化が進む今日、私たちは普段の生活の中で外国人を見かけることが、昔と比べてずいぶん多くなりました。例えば、観光地に行けば、日本人より外国人の方が多いと思う時もあるぐらい。

グローバル化 (グローバリゼーション) とは、情報通信技術の進展や交通手段の発達、また市場の国際的な開放などにより、社会的・経済的に国境の壁を越えて世界規模で結びつきが深まることをいいます。

今回は特集として、市内に転入された外国人の方を紹介します。彼らの視点を通して、「世界の人からみた宇陀」ってどんなところか、少し聞いてみませんか？

7 月には室生国際交流村による WCI の国際交流事業があり、今年は 10 개국 32 人の外国人青年が市内で 1 週間滞在しました



Profile：シャボール シルバン さん
一室生在住—
(フランスパリ出身／41歳)
育(いく)さん(神戸市出身)
美月(みつき)ちゃん、爽真(そうま)くんは、
地域のこども園に在園

- ①ガレットはそば粉を使ったフランスの代表的な家庭料理
- ②③築約100年の古民家を改修してカフェに。店名の「メリメロ」はフランス語で「混ぜ合わせる」こと。日本とフランスの文化やものの融合を意味しています
古民家の改修には市の「空き家対策・起業支援事業補助金」の支援を受けました
- ④2010年フランスのベルサイユ宮殿の庭で
- ⑤子どもたちが、この素朴な風景の中で健やかに育つことが家族の願い
- ⑥近所の方は子どもたちを「地域の子もだ」と言って可愛がってくれています



シャボールさん夫婦が、室生下田口に転入されて約5年。この3月には古民家を改装してフランスの家庭料理ガレット＆クレープのカフェを開店。多くの方々とネットワークを築きながら、田舎暮らしの魅力を発信されています。ここに永住を決めた理由は、人の温かさだとか・・・

私たちは、ハーモニー(調和)の中で生活することを学びました

出合いは奇跡のよう
家族も住まいも

なぜ宇陀市を選んだの？

シルバン・私たちが出会ったのは約10年前、オーストラリアの経営農場でした。あの頃は、お互い住み込みやワーキングホリデーで、行く先々で働きながら放浪の旅を楽しんでいました。それまで、私はフランスで保険会社に勤務し、妻は日本で看護師をしていました。私は、以前から自然の中の生活に憧れがありましたが、まさか日本に住むなんて思ってもなかった(^_^)でも妻が日本人だったので日本に来る決意をしました。フランス人の友達からも「勇気ある決断」って思われているかも(^_^)宇陀市を知ったのはSNSで、初めてここに訪れたのは9月頃。稲穂が黄金色に輝いて空気も心地よかったのが印象的で「絶対ここで住みたい」と思いました。そして、いろんな人の縁のおかげで今の家に辿り着きました。

——ここでの生活はどう？

この方はみんなオープンで、いつもいろいろな気にかけてくれます。例えば、野菜をくれたり、台風の時に心配してもらったり。私もできるだけ日本語で話そうとしますし、地域の作業にも出ています。今は、近所の方のお手伝いをいただきながら自治会の班長もしているんですよ。

何より、子どもたちが私たち以上に地域の一員として溶け込んでいます。

ハーモニーのある暮らし

——この地域の魅力は何だと思っ？

おそらく市街地とこのような田舎とは違うのですが、やはり観光地にはない日本古来の自然やライフスタイル、原風景が田舎にはあるし、人々の暮らしの中にも残されています。

生活を始めると、いろんな出来事や困りごとが起こります。最初、私は自治会や、「近所に挨拶に行く」の意味が分かりませんでした。今になって初めて、コミュニケーションの大切さ、地域との繋がりが大事だとわかりました。フランス人は個人主義ですが、日本人は自分よりもまず全体、コミュニティを大事に考えます。それが、この地域では特に感じますし、田舎の魅力だと思います。

——これから田舎はどうあればいい？

現代はストレス社会で人々はゆったりした時間を過ごすことを求めています。そして今はインターネットがあればどこでも仕事ができる時代です。宇陀は、提供いただける空き家があれば、サテライトオフィスとしても極上の環境だと思います。自然環境が素晴らしく、ネット環境も整っています。土地代も都会に比べ高くないのでベンチャービジネスにはうってつけ、十分需要もあるのでは？

ここでは時間がゆっくりと流れています。その素晴らしさを知ってほしいし、もっと共有できればと思います。



Profile : スティーブ・ハヌマン さん
 一様原在住ー
 (アメリカ ウェストバージニア州出身/58歳)
 高橋裕美子さん(山口県出身) : 写真右
 洋さん(山口県出身) : 写真中
 ミュージシャンとして約16年間日本で滞在。
 今年4月様原に移住し、念願の田舎暮らしを
 スタート

- ① スティーブさんの職業は、プロのミュージシャン。各地での演奏をはじめ、プロデューサーも務められます。
- ② これからの家族の楽しみは菜園づくり。これまでの人生にはない初めてのチャレンジで、とてもエキサイティングとのこと。
- ③ 敷地内にはドッグランを作りました。愛犬もとてもお気に入りの様子。
- ④ 自宅前に広がるご自慢の農村風景。本当に空気と景色がごちそう。心豊かな時間を過ごしていると喜ばれています。



家族は、スティーブさん、裕美子さん、お母さんの洋さんと2匹のボーダーコリー。畑、山林付きの空き家を購入し、家を新築されました。草刈りする、散歩する、自然の音や光とともに寝起きするなど、都会とは全然違う生活に「長生きできそう!」と喜んでおられます!

本当に不便? いや素敵ですよ! ここでの生活にトライしてみてください!

自然と共生するライフスタイル
 が素晴らしい

なぜ宇陀市を選んだの?

スティーブ・日頃から都会の喧騒の中にいると、どうしてもストレスが溜まるし、ゆったりとした時間が過ごしたかったんです。この場所は偶然インターネットで見つけたのですが、初めて来た時、景観の美しさに感動しました。

定期的に草刈りされ、農地は緑の絨毯のよう、水路にはせせらぎが流れています。ここにはアメリカやカナダのような手付かずの広大な自然とは異なる美しさがあります。日常の営みと一体となった管理された自然景観は、本当に日本ならではのものです。

——この生活はどう?

都会から帰ってきたとき、本当にほっとしますね。カエルの声や野鳥の声、朝日や夕日、周辺のロケーション全てが他に代えがたいものです。

みんなは「宇陀どこ? 遠いよ!」って言うのですが、大阪までたった1時間ですよ。他の地域に住んでも大阪まで1時間かかるでしょ? それなのにこんなに空気がきれいで、自分で野菜を作ることまでできるんです。

——最近、都市部以外でも外国の方をよく見かけるようになりました

祖国にいるときは、「日本のイメージ」東京など都会のイメージでした。でも田畑の緑や川や山々といった

素朴な自然の美しさを知り、感動するようになりました。他の外国人も同じで、SNSなどで日本のいろんな魅力を知り、気に入ったようですね。

人がたくさん集まってくるといろんな異文化がミックスされます。もちろん交流も大切です。でも、私は日本の文化やいいところは、ネバーチェンジであってほしい。日本の文化や美徳はナンバーワンです。だから、みんなにもリスペクトしてもらいたいし、守り続けてもらいたいです。

Help Uda grow.
 Become happy, too.

——これから宇陀での生活で思うことはありませんか?

私たちにあって、ここには夢があります。地域の方と作業をしたり、初めてのことがあり。この素晴らしい環境や景観を脈々と受け継がれてきた地域の方の勤勉さとご努力を尊敬します。そして、これまで祖先から暮らすこの地域に私たちが快く受け入れていただいたことにも感謝しています。

今、どの地域でも人口が減っているって聞きます。特に若い人には、少し意識改革して、故郷に住み続け、環境を守り続けてもらいたいです。宇陀は、都市からも遠くありません。美味しいお店やコンビニもあります。心身ともに健康的で、とてもバランスの良いところです。ぜひ、故郷での生活にトライしてほしいです。